

令和4（2022）年度博士前期課程（一般選抜・冬期試験）問題 目次

専門試験		ページ	
人文学専攻	哲学コース	哲学哲学史	-
		科学技術社会論	-
		臨床哲学	1
		中国哲学	-
		インド学・仏教学	-
	グローバルヒストリー・ 地理学コース	東洋史学	2-3
		西洋史学	4-5
		人文地理学	-
	文学コース	中国文学	-
		英米文学	-
		ドイツ文学	-
		フランス文学	-
		テキスト環境論	-
比較・対照言語学コース	比較・対照言語学	6-8	
日本学専攻	基盤日本学コース	現代日本学	9-10
		日本史学	11-18
		考古学	19-20
		日本文学・日本語史学	21-27
		基盤日本語学	-
芸術学専攻	アート・メディア論コース	アート・メディア論	28-31
	美学・文芸学コース	美学	-
		文芸学	-
	音楽学・演劇学コース	音楽学	32-34
		演劇学	-
	日本東洋美術史・西洋美術史コース	日本東洋美術史	35-37
		西洋美術史	38-39

1000D	2022	第
一秋	第	
第	0	

令和4（2022）年度
 大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基礎日本学コース・芸術学専攻
 （博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 哲学コース （臨床哲学受験分野） 専門試験

問題1 臨床哲学において現実的な出来事・人を扱うときに、考えるべきこととしてどのようなことがあるか、自由に述べなさい。

問題2 添付資料は、緒方正人著『チツソは私であった：水俣病の思想』（河出書房新社、2020年）からの抜粋（59～70頁）です。この資料を通読し、「制度」と「個」の関係について、あなた自身の関心ある事柄にむすびつけながら、論じなさい。

資料の文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

問題3 下の英文を読んで、第二段落を和訳しなさい。
 （選択する外国語が「英語」の者のみ回答）

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次の通りです。
 Helga Kuhse, *Caring: nurses, women and ethics*, Blackwell Publishers Ltd, 1997, pp.117-118

下の仏文を読んで、第二段落 11 行目 (L'évolution から始まる文)以降を和訳しなさい。
 （選択する外国語が「仏語」の者のみ回答）

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次の通りです。
 S. Bourgault et J. Perreault, dir. *LE CARE: Éthique féministe actuelle*, Les Éditions du remue-ménage, 2015, pp.9-10.

4(M)▷	(W)	既
一秋	7	
始社		

令和4（2022）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 グローバルヒストリー・地理学コース （東洋史学受験分野） 筆記試験

I 論述問題

次の2問から1問を選び、解答しなさい。

1. 中国における「正史」編纂の歴史について、論述しなさい。
2. 任意の時代・地域におけるアジアの宗教を2つ以上取り上げ、相互の影響関係、およびそれらが政治・文化に与えた影響について論述しなさい。

II 基礎事項問題

次の(a)～(e)の事項について知るところを、それぞれ2行程度で簡潔に述べなさい。

- (a)『藝文類聚』 (b)青苗法 (c)陽明学 (d)左宗棠 (e)スーフイー教団

III 英語問題

次の文章を日本語に訳しなさい。なお、文中の注番号については無視すること。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

【A. Schottenhammer, "Major 'International' Currencies of China and Japan." S. Serels & G. Campbell (eds.), *Currencies of the Indian Ocean World*, Cham: Palgrave Macmillan, 2019, pp. 18–20】

IV 漢文問題

次の漢文は、清の顧炎武が著述した『日知録』卷13・田宅の一部分です。これを読んで、下の問いに答えなさい。なお、一部の箇所では標点を省略しています。

舊唐書張嘉貞^①在定州所親有勸立田業者，嘉貞^②曰，吾忝歷官榮，曾任國相，未死之際，豈憂飢餒。若負譴責，雖富田莊何用？比見朝士廣占良田，乃身歿後，皆爲無賴子弟作酒色之資，甚無謂也。聞者嘆服。此可謂得二疏之遺意者。若夫世變日新，人情彌險，有以富厚之名而反使其後人無立錐之地者亦不可不慮也。
書又言馬燧^④貨貨甲天下既卒子暢承舊業屢爲豪幸邀取。貞元末，中尉曹志廉諷暢，令獻田園第宅，順宗復賜暢。中貴人逼取，仍指使施於佛寺，暢不敢吝。^⑤晚年財產並盡身歿之後諸子無室可居以至凍餒。今奉誠園亭館，即暢舊第也。

【語註】

- * 張嘉貞：唐代の宰相。
- * 二疏：漢代の疏広・疏受兄弟。「不為子孫立産業」のエピソードで有名。
- * 馬燧：唐代の武將。

- 問1 傍線部①をすべてひらがなで書き下しなさい。
問2 傍線部②の「曰く」以下の張嘉貞による発言内容を、すべて現代日本語訳しなさい。
問3 傍線部③をすべてひらがなで書き下しなさい。
問4 傍線部④を現代日本語訳しなさい。
問5 傍線部⑤をすべてひらがなで書き下しなさい。

令和4（2022）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基礎日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻 グローバルヒストリー・地理学コース（西洋史学受験分野） 筆記試験

[問題用紙は2枚です。]

（1枚目／2枚中）

注意：解答は、別紙解答用紙に問題番号を書いてから記入しなさい。また、各問題の枝間の記号や番号も記すこと。

設問1. ①と②から1問を選択し、解答しなさい。

①「ディアスポラ」は、長らくユダヤ人の「離散」を意味する言葉として用いられてきましたが、近年の歴史学においては、国民国家への帰属を前提としない、人間の流動的で無国籍な生存様式に着目する新しい研究の傾向を反映して、移動と拡散を意味する広い概念として用いられています。西洋史においてディアスポラは古代から現代にいたるまで広く見られた現象です。その例をひとつ取り上げ、発生の要因、移動と拡散によって構築されるネットワーク、そしてディアスポラの移住先の国や社会にもたらされた変化について論じなさい。

②グローバルゼーションに対する一種の反動として、世界各地でナショナリズムが強まり、極端に自国の歴史を賛美する風潮も現れている。そうしたなか歴史認識の問題は、国内にとどまらず、国際的にも政治的な課題となる場合が増加している。歴史学も歴史修正主義の拡大に直面している。歴史修正主義の具体例を示して、論じなさい。

設問2. ①～⑥の語句のなかから2つを選択し、説明しなさい。

- ① オリュンピアの祭典
- ② 勤勉革命
- ③ 対抗宗教改革
- ④ 人道主義
- ⑤ 南アフリカ戦争（ボーア戦争）
- ⑥ アイルランド自由国

(2枚目 / 2枚中)

設問3. 下記の英文は、Chris Wickham, *Medieval Europe*, Yale University Press, 2016, pp. 1-3. の一部です。以下の問いに答えなさい。

(1) ①と③の箇所を、日本語で全訳せよ。

(2) 下線部②のように、本書は中世ヨーロッパに関して著者の見解が提示されたものである。従来の研究に対して、本書にほどのような特徴があり、どのような具体的内容が記載されていると考えられるかについて、英文中の内容を適宜用いながら、説明せよ。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Chris Wickham, *Medieval Europe*, New Haven, Yale University Press, 2016, pp. 1-3.

4(N)D	期	関
一秋冬	13	
富社		

令和4（2022）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 比較・対照言語学コース 筆記試験

[問題用紙は3枚です。]

（1枚目/3枚中）

1. 以下の英語の文章3つ(A, B, C)のうちから2つを選んで、日本語に直しなさい。下線を引いてある問題は、下線部を日本語に直すこと。

(問題の記号 (A, B, C のいずれか) を書いて、解答すること。)

A:

問題文は著作権に配慮して省略します。

なお、出典は次のとおりです。

[出典: Paul Deane (1992) *Grammar in Mind and Brain*. Mouton de Gruyter. Berlin p. 1, l. 5~l. 14.]

B:

問題文は著作権に配慮して省略します。

なお、出典は次のとおりです。

[出典: Noveck, Ira (2018) *Experimental Pragmatics: The Making of a Cognitive Science*. Cambridge University Press. p. 7, l. 15~l. 35. (一部改変)]

(2枚目/3枚中)

C:

問題文は著作権に配慮して省略します。
なお、出典は次のとおりです。

[出典: Lehmann, Winfred P. (1993) *Theoretical Bases of Indo-European Linguistics*. Routledge. p. 45, l. 29 ~ l. 43.]

2. 以下の用語の中から5つを選んで、日本語で説明しなさい。

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| 1. Tense | 9. Back-formation |
| 2. Argument structure | 10. Productivity |
| 3. Epistemic modality | 11. Prosody |
| 4. Implicature | 12. Flat adverb |
| 5. Functional sentence perspective | 13. Vowel |
| 6. Discourse-old | 14. Complementary distribution |
| 7. Active zone | 15. Thematic roles |
| 8. Approximant | |

3. 以下の日本語文の下線部を英語に直しなさい。ただし、「おかしい」はローマ字表記でよい。

問題文は著作権に配慮して省略します。
なお、出典は次のとおりです。

[出典: 小野尚之 (2013) 「語彙意味論」『日英対照 英語学の基礎』三原健一・高見健一 (編著) くろ

しお出版. 129 頁, 2 行~ 13 行. (一部改変)]

(3 枚目/3 枚中)

4. 大学院入学後の研究計画について、英語で説明しなさい。字数制限はありません。

令和4（2022）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
日本学専攻・基盤日本学コース（現代日本学受験分野）筆記試験

〔問題用紙は2枚です。〕

（1枚目/2枚中）

〔I〕 日本研究の観点から、「伝統」について論じなさい。

〔II〕 次の項目から、4項目を選び、各項目について5行程度で説明しなさい。

- (1) 藤原惺窩 (2) 藩校 (3) 教育勅語 (4) 一国民俗学
(5) 古川ロッパ (6) USCAR（琉球列島米国民政府） (7) 鶴見俊輔 (8) 第二波フェミニズム
(9) 男女雇用機会均等法 (10) 「想像の共同体」 (11) 石内都 (12) ジェンダー・バックラッシュ

〔III〕 次の3問のうちの1つを選んで答えなさい。

- (1) 人の移動と文化の関係について、近代日本の事例を挙げながら論じなさい。
(2) 近代日本のジェンダーについて述べている文献を一つ取り上げ、その内容を批判的に検討しながら紹介しなさい。
(3) 1990年代以降の日本における記憶論の展開について、同時代の社会的事象との関わりのもとで論じなさい。

(2枚目/2枚中)

[IV] 次の文章は、Harry Harootunian による論文 “Japan’s postwar and after, 1945-1989: An overview” の一節 (From *Postwar to Postmodern: Art in Japan 1945-1989*, eds by Doryun Chong et al, The Museum of Modern Art, 17 頁 1 行目～18 頁 18 行目) である。これを読んで、次の問いに日本語で答えなさい。

1. 下線部①を日本語に訳しなさい。
2. 著者が下線部②と書いたのはなぜか。本文の内容と日本の戦後文化の状況を踏まえて説明しなさい。

※問題文は著作権に配慮し省略します。なお出典は上記のとおりです。

科目	W	問
回数	5	
冊数		

令和4（2022）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
日本学専攻 基盤日本学コース（日本史学受験分野） 筆記試験

[問題用紙は8枚です]（1枚目／8枚中）

【注意】設問（I）については、解答用紙は縦長に使い、横書きで解答して下さい。

（I）外国語問題

次の英文は、キャロル・グラックの著作の一部である。この文章を日本語に訳しなさい。[15点]

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【Carol Gluck（1985）：*Japan's Modern Myths：Ideology in the Late Meiji Period*,
Princeton, N.J, Princeton University Press, 1985, p.17】

* conscription 徴兵制 entrepreneurial 起業家の

（問題文は次に続く）

(三枚目／八枚中)

【注意】設問(Ⅱ)～(Ⅴ)については、解答用紙は横長に使い、縦書きで解答して下さい。

(Ⅱ) 次の問いに答えなさい。

[25点]

古代・中世・近世・近代のそれぞれの時代における貿易のあり方とその特徴について、具体的に述べなさい。

(Ⅲ) 次の歴史的な辞(Ⅰ)～(Ⅳ)のうち三つを選び、研究史上の論点をふまえて説明しなさい。

[15点]

(Ⅰ) 和同開珎

(Ⅱ) 蒙古襲来

(Ⅲ) 一国一城令

(Ⅳ) ワシントン体制

(問題文は次に続く)

(三枚目／八枚中)

(Ⅳ) 次の設問 (1) ～ (4) のうち、二つを選んで答えなさい。

[30点]

- (1) 次の史料は、沖森卓也・佐藤信・矢嶋泉編『藤氏家伝 鎌足・貞慧・武智麻呂伝 注釈と研究』(吉川弘文館、一九九九年)からの引用である。『鎌足伝』の一節を読んで、①～③の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【沖森卓也・佐藤信・矢嶋泉編『藤氏家伝 鎌足・貞慧・武智麻呂伝 注釈と研究』(吉川弘文館、一九九九年) 一六七頁、一七二頁】

- ①全文を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。
②傍線 a の「山田臣」、傍線 c の「大臣」について、それぞれの人名をフルネームで記しなさい。
③傍線 b の「三韓」について、三つの国名を記しなさい。

(問題文は次に続く)

(四枚目／八枚中)

- (2) 次の史料は、『史料纂集 花園天皇宸記 三』(統群書類従完成会、一九八六年)から引用したものである。『花園天皇宸記』元弘元年(一二三三)十月一日条および同記の別記(目次記とは別に記されたもの)同日条を読んで、①～④の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【村田正志校訂『史料纂集 花園天皇宸記』第三(統群書類従完成会、一九八六年)二〇八頁、二三八頁】

- ① 傍線 a の人物は誰か。
- ② 傍線 b を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。
- ③ 傍線 c を現代語訳しなさい。
- ④ 傍線 d を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。

(問題文は次に続く)

(五枚目／八枚中)

- (3) 次の史料は、米山一政編『真田家文書』上巻(長野市、二〇〇五年改訂)所収のものである。この史料を読んで、①～③の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【米山一政編『真田家文書〔改定版〕』上巻(長野市、二〇〇五年)二五四頁】

- ①この史料において、「公方様」とは誰のことを指すか。漢字で答えなさい。
- ②この史料のうち、月日・差出・宛名を除く本文について、漢字(新字体)・平仮名交じりの読み下し文にしなさい。
- ③この史料のうち、月日・差出・宛名を除く本文について、正確に現代語訳しなさい。

(問題文は次に続く)

(六枚目／八枚中)

(4) 次の史料は、江村榮一校注『日本近代思想大系9 憲法構想』(岩波書店、一九八九年)

所収の「民撰議院設立建白書」の一節である。この史料を読んで、①～④の問いに答えなさい。なお、史料は一部改変したところもある。

臣等伏シテ方今政權ノ歸スル所ヲ察スルニ、上帝室ニ在ラス、下人民ニ在ラス、而獨有司ニ歸ス。夫有司、上帝室ヲ尊プト曰ザルニハ非ズ、而常案漸ク其尊崇ヲ失フ、下人民ヲ保ツト曰ザルニハ非ラス、而政令百端、朝出暮改、政情美ニ成リ、賞罰愛憎ニ出ツ、言路壅蔽、困管管ルナシ。夫如是ニシテ天下ノ治安ナラン事ヲ欲ス、三尺ノ童子モ猶其不可ナルヲ知ル。因仍改メズ、恐クハ國家土崩ノ勢ヲ致サン。臣等愛國ノ情白ラ已ム能ハズ、乃チ之ヲ振救スルノ道ヲ講求スルニ、唯天下ノ公議ヲ張ルニ在ル而已。天下ノ公議ヲ張ルハ民撰議院ヲ立ルニ在ル而已。則有司ノ權限ル所アツテ、而上下其安全幸福ヲ受ル者アラシ。請、遂ニ之ヲ陳ゼン。

夫人民、政府ニ対シテ租税ヲ払フノ義務アル者ハ、乃チ其政府ノ事ヲ与知可否スルノ權理ヲ有ス。是天下ノ通論ニシテ、復喋々臣等ノ之ヲ贅言スルヲ待ザル者ナリ。故ニ臣等竊二願フ、有司亦是大理ニ抗抵セザラン事ヲ。今民撰議院ヲ立ルノ議ヲ拒ム者曰、我民不學無智、未ダ開明ノ域ニ進マス、故今日民撰議院ヲ立ル尙早ガ二早カレ可シト。臣等以爲ラク、若果シテ真ニ其謂フ所ノ如キ乎。則之ヲシテ學且智ニ開明ノ域ニ進マシムルノ道、即民撰議院ヲ立ルニ在リ。何トナレバ則今日我人民ヲシテ學且智ニ開明ノ域ニ進マシメントス、先其通義權理ヲ保護セシメ、之ヲシテ自尊自重、天下ト憂樂ヲ共ニスルノ氣象ヲ起サシメズンバアル可カラズ。自尊自重、天下ト憂樂ヲ共ニスルノ氣象ヲ起サシメントスルハ、之ヲシテ天下ノ事ニ与ラシムルニ在リ。如是シテ、人民其國圃ニ安ジ、不學無智自ラ甘ズル若未ダ之有ラザルナリ。而シテ今其自ラ學且智ニシテ自其開明ノ域ニ入ルヲ待ツ。是殆ト百年河清ヲ待ツノ類ナリ。(中略)

有司ノ説又謂フ、歐米各國今日ノ議院ナル者ハ一朝一夕ニ設立セシノ議院ニ非ラス、其進歩ノ漸ヲ以テ之ヲ教セシ者ノミ故、我今日俄ニ之ヲ模スルヲ得ヌト。夫レ進歩ノ漸ヲ以テ之ヲ教セシ者、豈独リ議院ノミナランヤ、凡百學問技術機械皆然ルナリ。然レ彼レ數百年ノ久シキヲ積シテ之ヲ教セシ者ハ、蓋シ前二成規ヲ皆自ラ之ヲ經驗發明セシナレバナリ。今我其成規ヲ斥シテ之ヲ取ラバ、何企テ及ブ可カラザランヤ。若我自ラ蒸氣ノ理ヲ發明スルヲ待テ然後我始メテ蒸氣機械ヲ用ルヲ得可ク、電氣ノ理ヲ發明スルヲ待テ然後我始メテ電信ノ線ヲ架スルヲ得可キトスル乎、政府ハ必ニ手ヲ下スノ事ナカル可シ(江村榮一編『日本近代思想大系9 憲法構想』、岩波書店、一九八九年、六七～六九頁)。

- ①史料中の「」で括った部分について、その内容を史料の記述に即して正確にまとめなさい。
- ②傍線 a に対する建白者の反論について、史料の記述に即して述べなさい。
- ③傍線 b に対する建白者の反論について、史料の記述に即して述べなさい。
- ④「民撰議院設立建白書」が提出されるまでの経緯について、知るところを述べなさい。

(問題文は次に続く)

(七枚目／八枚中)

(V) 次の設問(1)と(2)のうち、一つを選んで答えなさい。

[15点]

(1) 次の史料の全文を、漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。解答にあたっては、できるだけ原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【堺市博物館編『和田家文書の世界―鎌倉く南北朝期の和泉・河内―』（堺市博物館、二〇三二年、三三頁中段）

(問題文は次に続く)

(八枚目／八枚中)

- (2) 次の古文書の見取書(くずし字をそのまま現在の文字に置きかえて写すこと)を記しなさい。なお、原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【史籍研究会編『内閣文庫所蔵史籍叢刊 第八五巻 諸事留(一)』(汲古書院、一九八八年、二七四頁上段)】

4/10 D	(W)	岡
一般選抜	7/6	
日礼		

令和4(2022)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題
日本学専攻 基盤日本学コース (考古学受験分野) 筆記試験

[問題用紙は2枚です。]

(1枚目/2枚中)

(以下の設問はすべて日本語で解答すること)

問1 環濠をもつ集落に関して、日本・アジア・欧米にわたって具体的な事例を挙げながら、それぞれの地域や時代による特徴を説明しなさい(800字以上)。

問2 土器を用いた祭祀・儀礼について、任意の2つの地域あるいは時代を比較して、その共通性や差違を述べなさい(800字以上)。

問3 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

(1) 全体を日本語に訳しなさい。

(2) 下線部が示す具体的な事例を挙げ、それが考古学研究に与えた影響について述べなさい(200字以上)。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

W. Ashmore and R. Sharer, 1988, *Discovering Our Past*, Mayfield Publishing Company, p.134 ll.12-25.

問4 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

- (1) 全体を日本語に訳しなさい。ただし、()内は訳出不要。
- (2) 下線①の人物について、知るところを述べなさい(200字以上)。
- (3) 下線②の人物について、知るところを述べなさい(200字以上)。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Kevin Greene, 2002, *Archaeology: An Introduction Fourth Edition*, University of Pennsylvania Press, p.239, right column, ll.20-38.

問5 次の語句等について、それぞれ詳しく説明しなさい。

- (1) Grahame Clark
- (2) Hadrian's Wall
- (3) 漆紙文書
- (4) 局部磨製石斧
- (5) 天馬塚
- (6) 八日市地方遺跡
- (7) 角塚古墳
- (8) 飛鳥池遺跡

令和四（二〇二二）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基礎日本学コース・芸術学専攻
 （博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

日本学専攻 基礎日本学コース（日本文学・日本語学受験分） 筆記試験

「問題用紙は七枚です。」

（一枚目／七枚中）

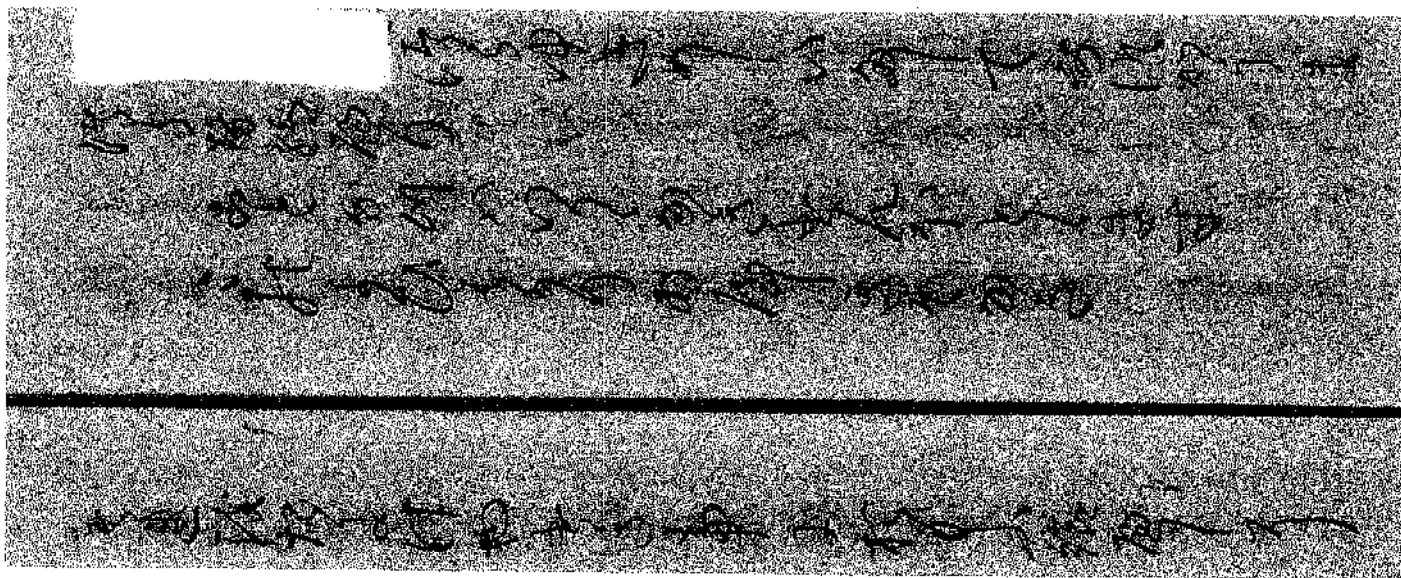
一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（この問題については解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

亭子院の、河尻におはしましては、白女といふあそび召て御覧じなどせさせたまひて、「①はるかにとをく候よし、哥につかうまつれ」と仰事ありければ、よみてたてまつりし、

Aはまちどりとびゆくかぎりありければ雲たつやまをあはとこそみれ

いとみじうめでさせ給て、ものかづけさせ給き。……（中略）……

延喜の御時に古今抄せられしをり、つらゆきはきらなり、たゞみねやみつねなどは、御書所にめされて候けるほどに、②西月二日なりしかば、まだしのびねのころにて、いみじく興じをほします。



同御時、御あそびありしよ、御前の御階のもとにみつねをめて、「③月をゆみはりとしふころは、なにのころぞ。これがよしつかうまつれ」とおほせごことありしかば、

Bてる月をゆみはりとしふ事はやま辺をさしていればなりけり

と申たるを、いみじう感せさせ給て、大うちぎたまひて、かたにうちかくるまゝに、

しら雲のこのかたにしもおりあるは、あまつ風こそふきてきぬらし

いみじかりし物かな。

（『犬鏡』）

問一 Aを現代語訳しなさい。その際、傍線部①に対して、どのように答えたのかが分かるように訳すこと。

問二 傍線部②の内容を、主語を明示し、何の「しのびね」なのか、なぜ「興じ」たのかの理由も明らかにして、説明しなさい。

問三 Bを現代語訳しなさい。その際、傍線部③の問いにどのように答えたのかが分かるように訳すこと。

問四 画像になっている五行分を正確に翻刻しなさい。

□ 次の文章は、大槻文彦『広日本文典』序論（一八九七（明治三十）年刊）の冒頭です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

我が國語学の専、中世、言文両途となりしより、教育する事とはなりしかど、初は、唯歌學家一派の、高尚なる専門に存せしが如し。百数十年前より、新道の學者、やうく世に出て来て、頗る武道を究めて、世に称道し、其著作の發行せられしも、少からず。されど、世人尚これを専門学とのみ認めて、普通の教育にとては、上することなかりき。蓋し、文章語と、口語と異なりとはいへ、國人の國文に於ける、別な事々しき教育を受けずとも、おぼるげにも、自ら意を通じ、その誤謬の如きも、人々、互に選用して怪まず、粗、用を弁するに足りてありしかば、これを重んぜざりしなるべし。又、語學家の見も、これと同じく、唯、解しがたく、誤りやすき局部のみ説きて、他の迷ふべくもなきには、論及せずしてありしなり。されば、その著作せしを見るに、文法一科学の書としては、遺漏せること、甚だ多くして、文典の体裁を具備せるはなし。

問一 傍線部「言文両途」は、ここではどのような意味で使われていると考えられるか、簡単に述べなさい。

問二 点線部「其著作の發行せられしも、少からず」の「著作」について、例として自分で資料二点を選び、著者名・書名と、その内容の概要を説明しなさい。

問三 二重傍線部「國人のくなるべし」全体を、わかりやすい現代日本語に訳しなさい。

問四 (1) この文章の文体は日本語史の中で何と呼ばれているか。「く体」の形で答えなさい。

(2) この文章が刊行された時期、(1)の他にどのような文体が見られるか、知るところを述べなさい。

*日本文学専攻予定のものは三(A)を、日本語史学専攻予定のものは三(B)を選択しなさい。

三(A) 次の文章Ⅰ・Ⅱは、いずれも夏目漱石『草枕』の一節です。画工である「余」は、俗世間の煩瑣を逃れ、那古井の温泉場に向かいます。Ⅰは、「余」が那古井に向かう途上で茶店に寄った場面、Ⅱは、那古井に到着した後の場面です。Ⅰ・Ⅱを読み、後の問いに答えなさい。

(この問題について解答用紙一枚を用い、横書きにすること)

《引用は『定本 漱石全集 第三巻』(岩波書店、二〇一七年)二二―二七頁、五〇―五六頁。なお引用にあたって一部省略している》

Ⅰ

「又誰ぞ来ました」と婆さんが半ば寝り替の横に云ふ。
只一錠の春の路だから、行くも帰るも皆近付きと見える。厩前邊ふた五六匹のちやらんくも、
纏々此婆さんの腹の中で又誰ぞ来たと思はれては山を下り、思はれては山を登つたのだらう。
路、家裏と古今の着を賣いて、花を販くは足を着くるに地なき小村に、婆さんは幾年の昔からちやらん、ちやらんを教へ尽くして、今日の白頭に至つたのだらう。

馬子唄や白髪も染めて奪る、奪
と次のページへ認めたが、是では自分の感じを云ひ終せない、もう少し工夫のありさうなものだと鉛筆の先を躊躇めながら考へた。何でも白髪といふ字を入れて、幾代の腕と云ふ句を入れて、馬子唄といふ題も入れて、春の季も加へて、それを十七字に纏めたいと工夫して居るうちに

- 「はい、今日は」と実物の馬子が店先へ留つて大きな声をかける。
- 「おや源さんか。又城下へ行くかい」
- 「何か買物があるなら纏まされて上げよ」
- 「さうさ、銀治町を通つたら、喉に懸懸寺の御札を一枚もらつてきて御供いなさい」
- 「はい、買つてきよ。一枚か。――御秋さんは荷い所へ片付いて仕合せだ。な、御叔母さん」
- 「難有い事だ今日は困りません、まあ仕合せと云ふのだから」
- 「仕合せとも、御前、あの那古井の噂さまと比べて御覧」
- 「本当に御気の毒な。みんな講義を持って。近頃はちつとは良合がいかい」
- 「なると、相違らざる」
- 「困るなあ」と婆さんが大きな息をつく。
- 「困るよう」と婆さんが馬の鼻を撫でる。

袷袢き山桜の葉も花も、深い空から落ちた塵なる顔の塵まりき、しつぱりと宿して居たが、此時わたる風に足をすくはれて、肩たふされずに、仮りの借履を、さらりと脱ぎ落ちる。馬は驚ろいて、長い鬣を上下に振る。

「ゴラッ」と叱り付ける源さんの声が、ちやらん、ちやらんと共に余の気響を破る。

御秋さんが云ふ。「源さん、わたしや、御寮入りのときの姿が、まだ厩前に散らつて居る。襦袢様の襟袖に、高島田で、馬に乗つて……」

「さうさ、船ではなかつた。馬であつた。矢張り此所で休んで行つたな、御叔母さん」

「あ、其様の下で襦袢の馬がとまつたとき、桜の花がほろくんと落ちて、折角の高島田に散が出来ました」

余は又学生帖をあける。此景色は画にもなる、詩にもなる。心のうちに花嫁の姿を溶べて、當時の横を想像して見てしなり顔に

花の頬を越えてかかし馬に嫁

と書き付ける。不思議な事には衣袢も髪も馬も鞍もはつきりと目に映じたが、花嫁の顔だけは、どうしても思ひつげなかつた。しばらくあの顔が、この顔が、と想像して居るうちに、ミレトのかいた、オフェリヤの面影が忽然と出て来て、高島田の下へすぼりとはまつた。是は陸田だと、折角の面影を早速取り崩す。衣袢も鞍も馬も鞍も一瞬間に心の道真立から奇麗に立ち退いたが、オフェリヤの合筆して水の上を流れて行く姿又は、朦朧と胸の底に残つて、無煙管で煙を払ふ様だ、さつぱりしなかつた。空に尾を曳く彗星の何となく妙な舞になる。

「それぢや、まあ御覧」と婆さんが挨拶する。

(四枚目七枚中)

「帯りに又御寄り。世情の降りて七曲りは羅網たる」

「はい、少し骨が折れよ」と源さんは歩行出す。源さんの馬も歩行出す。ちやらんく。

「あれは那古井の堀かい」

「はい、那古井の源兵衛で御座んす」

「あの男がとこぞの嫁さんを駕へ乗せて、神を祀したのかい」

「志保田の織姫が嫁平へ御座入のときに、織姫を草馬に乗せて、源兵衛が御座を幸いで通りました。——百日の立つのは早いもので、もう今年で五年になります」

織姫が、とこぞのみ、お初郎の白きを眺つものは幸の部と願する人である。細を折つて始めて、五年の流光に、転脚の疾風を解し得たる嫁さんは、人間としては單々他に近づける方だらう。余は斯う喜べた。

「嬉しくかつたらう。見にくければよかつた」

「ハ、今でも御座になれます。源治橋へ御座しなされば、御座出て御座参をなされませう」

「はあ、今では里に居るのかい。矢張り源治橋の振袖を着て、高島田に結つて居ればいゝが」

「だのんで御座なされ、着て見せましょ」

余はまさかと思つたが、嫁さんの顔は存外眞面目である。非人情の嫁にはこんなのが出なうては面白くない。嫁さんが云ふ。

「織姫と長良の乙女とはよく似て居ります」

「源がかい」

「いえ、身の成り行きがで御座んす」

「へえ、其長良の乙女と云ふのは何者かい」

「昔し出社は長良の乙女と云ふ、美くしに長者の婿が御座りましたまうな」

「へえ」

「所が其婿と二人の男が一度に御座して、あなた」

「なち源」

「さう、長良に嫁かうか、さうべ明に嫁かうかと、嫁はあけくれ思ひ煩つたが、とちもへも嫁をわけて、とうく」

あまづげばをばなが上は腰く郎の、けなぐくもねは、おもほゆるかも

と云ふ歌を詠んで、瀬川へ身を投げた乗りました

② 余はこんな山里へ来て、こんな嫁さんから、こんなお難な御座し、こんな古雅な話をきかうとは思ひがけなかつた。

「裏から五十度へ下ると、瀬川に五輪塔が御座んす。既に長良の乙女の墓を見て御行をなされ」

余は心のうちには是非見て行かうと決心した。嫁さんは、そのあとを燈りつゝける。

「那古井の織姫にも二人の男が御座りました。一人は織姫が草馬へ修行に出て御出での御御座りなまつたので、一人はこの後平で唯一の御持ちで御座んす」

「はあ、御座さんほどつちへ御座いたのかい」

「御自身は是非京都の方へと御座みなまつたのを、そこには色々な理由もありましたらうが、現に御が無理にこちらへ取り替へて……」

「臣出陣、瀬川へ身を投げてんでも済んだ御座れ」

「所が——先方でも御座り御座りなまつたのだから、関公大事にはなまつたかも知れませぬが、もしく強ひられて御出なまつたのだから、どうも折合がわるくて、御座りでも大分御心配の様子で御座んした。所へ今度の戦争で、旦那様の勤めて御出の御行がなまつた。それから織姫は又那古井のかへ御座りになります。世間では織姫の事を不人情だとか、羅網だとか色々申します。もとは極々内訌の御座りかたが、此頃は夫が死んで、何だか心配だと源兵衛が来るたびに申します。……」

(五枚目七枚中)

是からさきを聞くと、折角の趣向が壊れる。漸く仙人になりかけた所を、誰か来て、袈裟を輝せくと催促する様な気がする。七曲りの隙を置して、やつとの思で、こゝ迄来たものを、さう無暗に後戻りに引き下されては、飄然と家を出た甲斐がない。世間話しもある程度以上は立ち入ると、世間の真実が手拭から染込んで、指で身体が重くなる。

「御婆さん、那古井へは一節還たれ」と十銭銀貨を一枚床几の上へかちりと投げ出して立ち上がる。

「長良の五輪車から右へ御下りなされると、六丁程の近道になります。路はわるいが、御若い方には某方がよろしかる。——是は多分に御茶代ま——気を付けて御返しなされ」

II

突然横おいた。察察りを打つて入口を見ると、因縁の相手の其銀貨返しが壁障の上になつて、壁障の縁を差に懸けたまゝ竹んで居る。

「また隙て入らつしやるか、昨夕は御茶代で御座んしたらう。何事も御那郎をして、ほくそ」と笑ふ。越した聲色も、隠す聲色も——即づる聲色は無論ない。只こちらが先を越されたのみである。

「今朝は隠有う」と又礼を云つた。考へると、平儀の礼を徒に三返云つた。しかも、三返ながら、只舞有うと三五三三手である。

女は傘が隠き返らうとする隙元へ、早くも坐つて

「まお隙て入らつしやい。隙を隙ても話が出来ませう」と、まも氣作に云ふ。余も幸んだと考へながら、一先づ隠道になつて、両手で頭を支へ、しぼり壁の上へ脚障の柱を立てる。

「昨日は山で風長柳に御遊びでしたらう」

「ええ」

「長良の乙女の五輪車を見て入らしたか」

「ええ」

「おきつは、おはなが上之様く鷹の、けぬべくもわは、おもほゆるかも」と説明もなく、女はずらりと節もつげずに歌又述べた。何の爲めか知らぬ。

「其歌は、茶店で聞きましたよ」

「婆さんが歌へましたか。おれはちと私のうちへ茶公したもので、私がまだ嫌だ……」と云ひかけて、是はと余の顔を見ながら、余は知らぬ風をして居た。

「私がまだ若い時分でしたが、おれが来るたびに長良の話をして聞かせてやりました。うた丈は中々覚えなかつたのですが、何事も聴くうちに、とうとう何も教も暗誦して仕舞ひました」

「どうれて、六つかしい事を短つてると聞つた。——然しあの歌は憐れな歌ですわ」

「憐れでせうか。私ならあんな歌は歌みませんわ。第一、瀬川へ身を投げるなんて、つまらぬいちやありませんか」

(六枚目七枚中)

③ 「産卵つもらないですね。あなたなら採卵しますか」
「どうするつて、取らないぢやありませんか。さうだ男もさうべ男も、男業にする許りですわ」
「誰方ともですか」
「えへ」
「えらいな」
「えらかあない、当り前ですわ」
「成程美ねぢや取の取へも、取の取へも、飛び込みますよ新井殿だ」
「取の様な思ひをしなくつても、生きてゐられるでせう」
「ほーう、ほけまよーうと忘れかけた鷹が、いつ勢を盛り返してか、時ならは鷹を不慮に獲つた。
一際立て直すと、あとは自然に出ると思える。身を凝まして、ふくらむ喉の底を震はして、
かまき口の張り裂くる許りに
ほーう、ほけまよーう。ほーう、ほけつーまよーう
と、こつり様は呟る。
「あれが本当の歌です」と女が余に教へた。

問一、Iにおいて、画家である「余」は、傍線部①「那古井の嬢さま」を、まるで絵のように想像します。「余」は、「那古井の嬢さま」を、どのような絵として描き出しているのでしょうか。また、その描写や表象には、どのような知的背景や眼差しをみることができるのでしょうか。その描かれ方を説明するとともに、その描写を支える知的背景や眼差しのあり方を考察し、論述しなさい。

問二、傍線部②「余はこんな山里へ来て、こんな婆さんから、こんな古雅な言葉で、こんな古雅な話をきかるとは思ひがけなかつた」について。「山里」に住む「婆さん」が「古雅な言葉」で「古雅な話」を「余」に話すことができたのか。「古雅な話」の内容を明らかにしたうえで、その理由を、説明しなさい。

問三、傍線部③は、「那古井の嬢さま」と「銀杏返し」の女の言葉である。その「どうするつて、取ないぢやありませんか。さうだ男もさうべ男も、男業にする許りですわ」の言葉は、「長良の乙女」の伝説を踏まえて発言されている。「長良の乙女」の伝説と比較対照し、この「那古井の嬢さま」(「銀杏返し」)の女の発言を解釈し論述しなさい。

問四、夏目漱石『草枕』は、一九〇六(明治三九)年に『新小説』に発表されました。右の場面I、場面IIを、あなたが分析や解釈をするとなれば、どのような方向性や角度で論述しますか。『草枕』発表当時の夏目漱石の文学的状況、および歴史的社会的状況も踏まえながら、あなたの分析や解釈を論述しなさい。

(この問題について解答题用紙一枚を用い、横書きにすること)

(七枚目、七枚中)

(日本語史学を専攻する予定の受験生は、この問題を解答しなさい)

三 (B) 次の問いに答えなさい。(この問題について解答用紙二枚を用い、縦書きにすること)

問一 以下の事柄について、知るところを簡潔に述べなさい。

(イ) 訓点語 (ロ) 形態素 (ハ) 陳述

問二 以下は、『虎明本狂言集』の「猿聲」の冒頭部である。まず『虎明本狂言集』の資料的な性格(時代性なども含めた日本語史の資料としての特徴)について知るところを述べた上で、掲載した部分から、自分なりの日本語史上の問題(研究テーマ)を一つ設定し(この文献を調査資料の一つとするにふさわしい問題であることが望ましい)、その問題設定に対する調査方法(比較すべき関連資料などにも言及するのが望ましい)を具体的に書きなさい。

校註者の著作権に配慮し、本文・頭注は省略して公開する。

645 猿聲の本文冒頭「かやうに候者は」から、「都のにし嵐山くむこいり仕候」まで。

頭注の三から八まで

(池田廣司・北原保雄『大蔵虎明本狂言集の研究 本文篇上』表現社 昭和47年 387頁による)

令和4（2022）年度
 大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
 （博上前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
芸術学専攻 アート・メディア論コース 筆記試験
 [問題用紙は4枚です。]
 （1枚目/4枚中）

問1 次に挙げる12の用語もしくは固有名詞のなかから自由に**5つ**を選び、それぞれを**5行程度の日本語**で説明しなさい。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| (1) ドラマトゥルク | (2) ワッハ上方 |
| (3) ブロックチェーン技術 | (4) Cindy Sherman |
| (5) サウンド・スケープ | (6) 視聴覚連祷 (audiovisual litany) |
| (7) クレール・ドゥニ | (8) つなぎ間違い |
| (9) ハロルド・プリンス | (10) 桐竹勘十郎 |
| (11) A・ローズ『装飾と罪悪』 | (12) ウィリアム・メレル・ヴォーリズ |

問2 次に挙げる6つの設問A～Fの内から自由に**2つ**を選び、日本語で解答しなさい。

- A.** 2021年東京パラリンピック開会式の振付について、社会包摂の観点から考察しなさい。
- B.** 別紙1の図版の三つの人物像について、それぞれの容貌、服装、色彩、形態など描写方法の特徴を詳細に記述し、これらの人物像になぜそのような描写方法がとられるのかについて論じなさい。
- C.** 録音再生機器の誕生によって音楽研究または音楽伝承に引き起こされた変化を概観したうえで、その今後の展望について、あなたの意見を述べなさい。
- D.** 古典的物語映画のジェンダー表象について、これまでのフェミニズム映画理論、及びクィア映画理論の研究を踏まえながら、具体例に基づいて論述しなさい。
- E.** 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、多くの舞台芸術（演劇やミュージカル、ダンスなど）の公演が、延期や中止になりましたが、それでもデジタル・メディアを活用したオンラインでの開催を模索する例も少なくありませんでした。それら舞台芸術のデジタル・メディアを活用した実例を取り上げ、その意義、可能性、問題点などについて論じなさい。

(2枚目/4枚中)

F. 別紙2の写真は、国立競技場（東京）を撮影したものである。最上部にある庇は、一見すると木材と錯覚するが、実際にはアルミ製のルーバーに木材調の塗装を施したものである（別紙2-A）。また大屋根部分には、木材が多用されているものの、実際に主荷重を支えているのは鉄材である（別紙2-B）。以上を念頭に、次の**2つの間**に答えなさい。

①20世紀以前の建築において、「装飾」と「構造」とが分離している作例を具体的に挙げ、そのデザインを規定している美学を考察しなさい。取り上げる作品の地域・構法は問わない。

②国立競技場の建築デザインに関して、「見せかけ・偽り」の素材や部材を用いることは、不誠実な設計態度である、との批判的意見もある。この意見について、①での回答内容をふまえながら、あなたの考えを述べなさい。

別紙 1
(3 枚目 / 4 枚中)

宝塚歌劇「ベルサイユのばら」オスカル

著作権に配慮し省略します

初音ミク

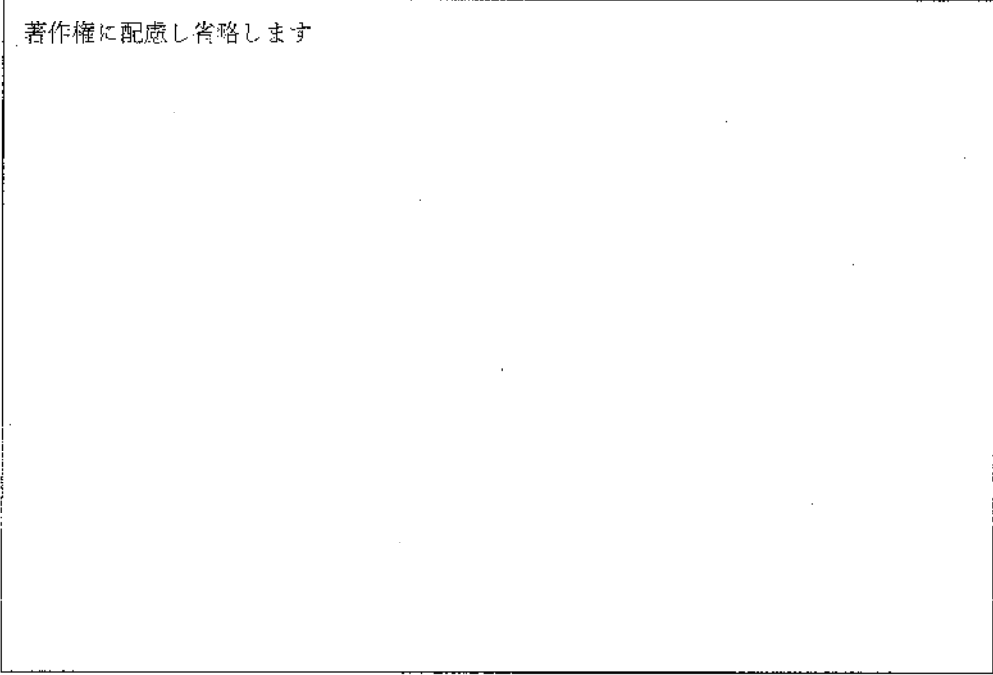
著作権に配慮し省略します

「アナと雪の女王」エルザ

著作権に配慮し省略します

別紙2
(4枚目/4枚中)

著作権に配慮し省略します



A: 国立競技場の底部分

出典：https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/e/e5/Kokuritsu_Kasumigaoka_Rikujo_Kyogijo_191221b.jpg

著作権に配慮し省略します



B: 国立競技場の大屋根

出典：

https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/b/b8/Kokuritsu_Kasumigaoka_Rikujo_Kyogijo_191221g.jpg

4/M/D	W	期
秋 祭	9	

令和4（2022）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

芸術学専攻 音楽学・演劇学コース（音楽学受験分野）筆記試験

[問題用紙は3枚です。]

（1枚目/3枚中）

問1 次の項目のうち3つを選び、それぞれにつき100字程度で説明しなさい。[配点21点]

- | | |
|----------------|-----------|
| 1) タイポグラフィ | 2) オイディプス |
| 3) ミニマル・ミュージック | 4) 新劇 |
| 5) 黒田清輝 | 6) フレスコ画 |

問2 複数の参考文献（日本語以外の言語で書かれた文献一つ以上を含む）をあげながら、自分の研究テーマについて説明しなさい。[配点30点]

(2枚目/3枚中)

問3 (1)次の文章を日本語訳しなさい。[配点25点](出典 Reinhard Strohm, "Preface", in Reinhard Strohm ed., *Studies on a Global History of Music: A Balzan Musicology Project*, 2018, Routledge, p.xiii, 1.1-19)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

(3枚目/3枚中)

問3 (2) 下の文章を読んで、ここに記されている「ゆるさ」について、あなたの研究対象における状況をできるだけまじえながら、あなた自身の考えを述べなさい。

[出典：奥中康人『和洋折衷音楽史』、2014年、春秋社、215頁1行-216頁11行] [配点24点]

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

科目ID	(A)	問
試験 科目	/0	

令和4（2022）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

日本東洋美術史・西洋美術史コース（日本東洋美術史受験分野）筆記試験

[問題用紙は3枚です。]

問1 以下の用語のうち3つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。

- 1) タイポグラフィ
- 2) オイディプス
- 3) ミニマル・ミュージック
- 4) 新劇
- 5) 黒田清輝
- 6) フレスコ画

問2 別紙1の問題に答えなさい。

問3 別紙2は葛飾北斎画「諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝」（1833年頃 大判錦絵 37.0cm×24.5cm 永青文庫蔵）です。構図や表現の特色を詳しく記述したうえで、あなたが考えるこの絵の魅力について述べなさい。

野呂介石（一七四七〜一八二八）筆「紅玉芙蓉峰図」（文政四年「一八二二」（財）脇村奨学会蔵）の自題について、次の問いに答えなさい。

画像および自題の網刻は著作権等に配慮し、掲載を省略します。

問 全文を書き下し文にしなさい。二重傍線のある漢字には振り仮名をふること。

強紙の像は、著作権者に配慮し掲載を省略いたします。

令和4（2022）年度
 人阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
 （博上前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
芸術学専攻 日本東洋美術史・西洋美術史コース（西洋美術史受験分野） 筆記試験

〔問題用紙は2枚です。〕

（1枚目／2枚中）

問1 以下の語句から3つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。〔配点21点〕

- | | |
|----------------|-----------|
| 1) タイポグラフィ | 2) オイディプス |
| 3) ミニマル・ミュージック | 4) 新劇 |
| 5) 黒田清輝 | 6) フレスコ画 |

問2 以下の10項目について簡潔に説明しなさい。〔配点40点〕

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1) 国際ゴシック | 2) アルカイク様式 |
| 3) ルーカス・クラーナハ | 4) ウィーン分離派 |
| 5) マーク・ロスコ | 6) ハインリヒ・ヴェルフリン |
| 7) ジョルジョ・ヴァザーリ | 8) ウラジーミル・タトリン |
| 9) 山下りん | 10) ギュスターヴ・ドレ |

(2枚目/2枚中)

問3 枠に囲んだ部分の英文を日本語に直しなさい。[配点 39 点] (出典：Alice Procter. *The Whole Picture: The Colonial Story of the Art in Our Museums & Why We Need to Talk About It*, London, 2020, pp.15, 1.1-16, 1.14.)

*問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。